

I 第13週の発生動向 (2009/3/23~2009/3/29)

- インフルエンザについては、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。八戸保健所管内においては前週に引き続き**注意報**が発令されています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、八戸、上十三保健所において、前週に引き続き**警報**が発令されています。
- 水痘については、青森保健所管内において新たに**注意報**が発令されました。

II 第13週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数										
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	数	数	数	数				
(85) インフルエンザ	67	4.79	118	7.87	223	15.93	40	5.71	142	15.78	23	3.83	613	9.43	-195	17	8.50	50	4.17	保健所名 インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹						
(74) RSウイルス感染症	1	0.11	1	0.11									2	0.05	1			1	0.13											
(75) 咽頭結膜熱			1	0.11							5	1.25	6	0.14	-2															
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	1.89	8	0.89	24	2.67			39	6.50	9	2.25	97	2.31	-11			17	2.13											
(77) 感染性胃腸炎	84	9.33	65	7.22	24	2.67	27	5.40	14	2.33	46	11.50	260	6.19	-30	9	9.00	75	9.38											
(78) 水痘	37	4.11	8	0.89	8	0.89	3	0.60	1	0.17	7	1.75	64	1.52	9	2	2.00	35	4.38											
(79) 手足口病	6	0.67	2	0.22							16	4.00	24	0.57	1			6	0.75											
(80) 伝染性紅斑	2	0.22	3	0.33	3	0.33	3	0.60					11	0.26	1			2	0.25											
(81) 突発性発しん	2	0.22	3	0.33	3	0.33	1	0.20	2	0.33	1	0.25	12	0.29	-4	1	1.00	1	0.13											
(82) 百日咳															-2															
(83) ヘルパンギーナ															-1															
(84) 流行性耳下腺炎	28	3.11			1	0.11	1	0.20			3	0.75	33	0.79	11			28	3.50											
(86) 急性出血性結膜炎															0															
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	1	0.50	2	2.00	2	1.00			7	0.64	-4			1	0.50											
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.00	7	7.00					2	2.00	11	1.83	5															
合計	65	42	23	11	6																									

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、五所川原2人、上十三1人

(21年計：78人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の惑

麻しん

(五類全数把握疾患)

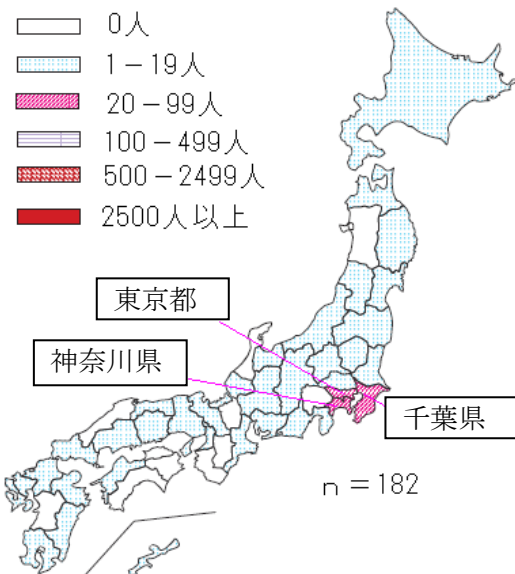


図1 都道府県別麻しん累積報告数 (2009.3.25現在、国立感染症研究所まとめ)

2009年3月現在、関東地区において20人以上の届出があります(図1)。本県の2008年は、前半(第15週)までは主に弘前保健所管内において40人の届出がありました。2009年は第13週現在で3人と昨年と比べると少ない届出数です。厚生労働省は、2008年4月1日から2012年度までの5年間の期限付きで、中学1年、高校3年生に相当する年齢を対象に、麻しんの予防接種が始まりました。感染しないために、予防接種を受けましょう。

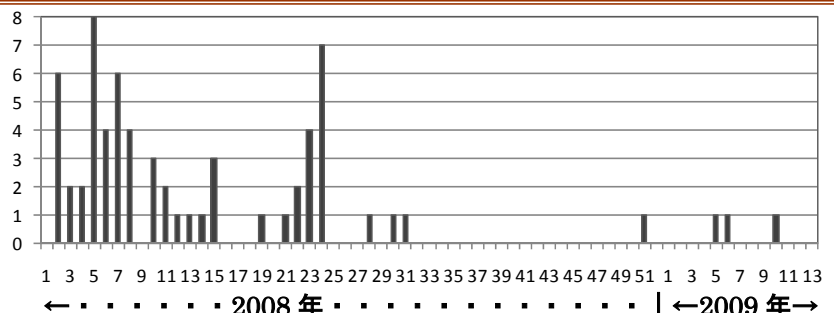


図2 青森県における届出数推移 (2008-2009年)

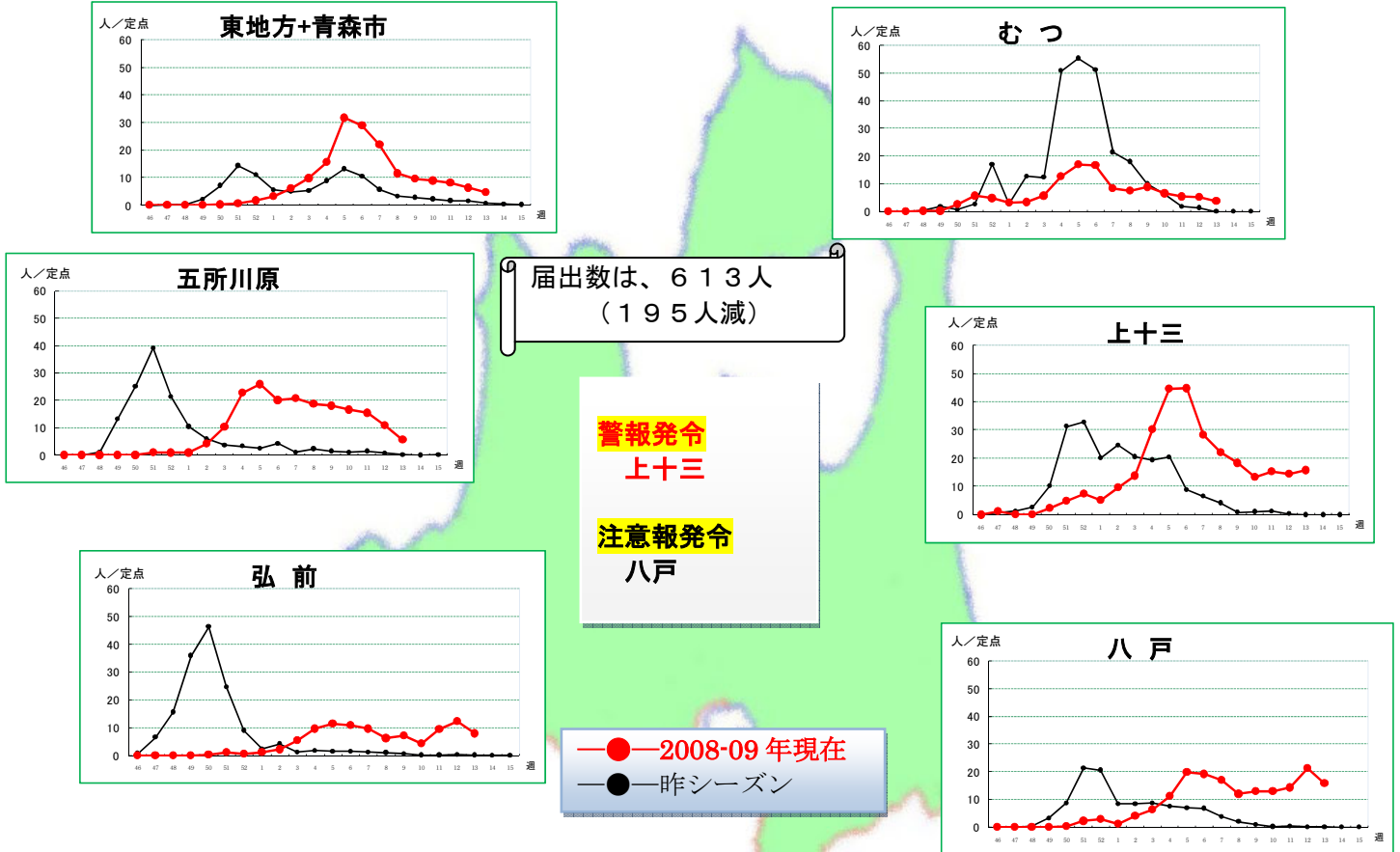
IV インフルエンザ情報 第13週 (3/23~3/29)

迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	17	118	223	40	142	23	50
A型	16	43	12	11	69	11	3
B型	1	75	198	29	71	12	7

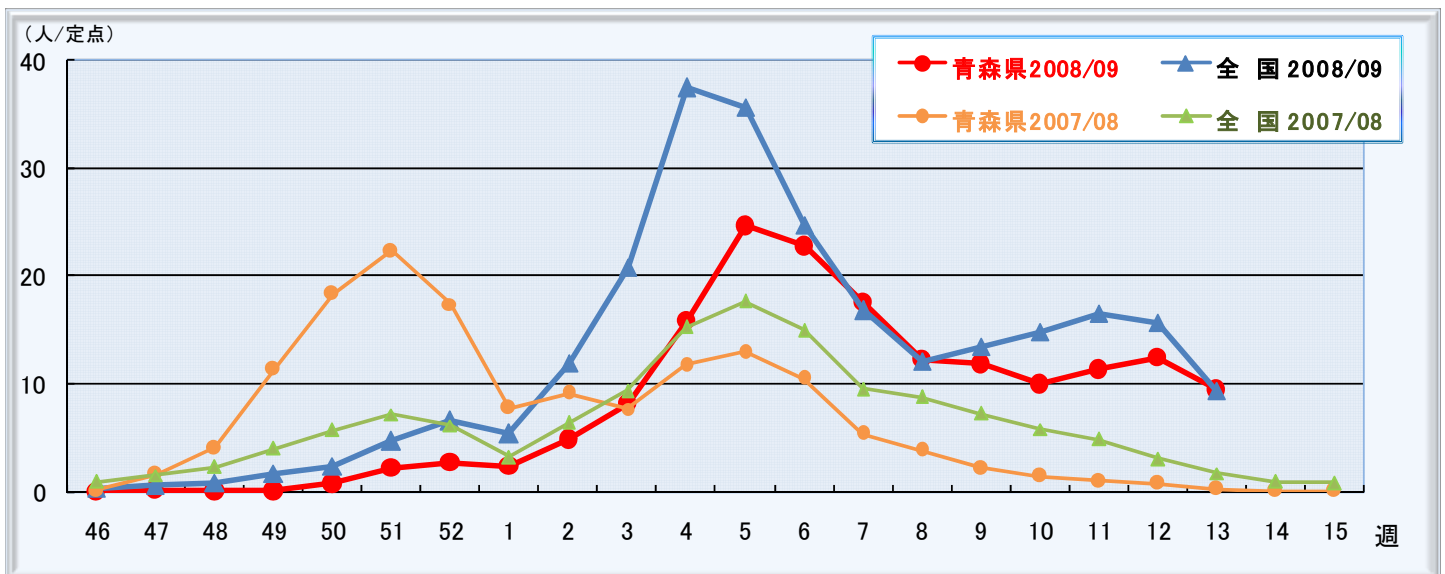
県全体の届出数は減少しましたが、B型が検出されていることから、A型に感染し軽快した後にB型に感染することもありますので、今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが必要です。

V 保健所管内別届出数推移 *Adobe Readerは、最新のバージョンをお願いいたします。



注：警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報レベルは10人/定点です。

VI 全国及び青森県における届出数推移 (2007-2008シーズン - 2008-2009シーズン)



関連情報 今年度の標語 《あ、その咳、そのくしゃみ～咳エチケットしてますか?～》

厚生労働省：今冬のインフルエンザ総合対策について <http://www.mhlw.go.jp/bunva/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html>

保健衛生課：インフルエンザの予防について http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/08-09seasonal_flu.html

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報 http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html